

正岡子規文庫と 図書館の戦後復興



学生時代の正岡子規
(国立国会図書館「近代日本人の肖像」)



1930年代の法政大学図書館



東京大学予備門時代の子規の自筆ノート
(レプリカ、原本は法政大学図書館所蔵)
「自然科学ノート」には太陽を一周する地球が描かれ、
気象に関する記述がある。



2024年10月25日(金)~2025年4月26日(土)

HOSEIミュージアム ミュージアム・コア (九段北校舎1階)

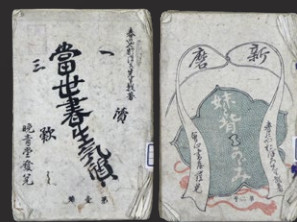
1949年、法政大学は戦後復興のさなか、俳人・歌人として知られる正岡子規の蔵書を受け入れました。計2,118点に及ぶ「正岡子規文庫」は俳諧や漢詩を中心とする一大コレクションです。

本展示では、自筆ノートのレプリカ完成を記念して、学生時代の子規を紹介するとともに、図書館の戦後復興と受け入れ経緯について考察します。

協力：法政大学図書館



巻末に夏目漱石との交流が記録された『俳諧続七部集』
(法政大学図書館所蔵)



学生時代の子規が夢中になって読んだ『当世書生気質』と『新磨妹と背鏡』
(法政大学図書館所蔵)

HOSEI ミュージアム
HOSEI UNIVERSITY MUSEUM

03-3264-6501 (事務室) museum@hosei.ac.jp

休館日：日曜日、月曜日、祝祭日
時間：午前10時~午後5時 (最終入場：午後4時30分)

※詳細はミュージアムウェブサイト参照▶



開館日が変更となる場合がありますので、最新のスケジュールをご確認ください。

誰もが使える インフラを作る

—原昌宏氏のQRコード開発—

会期 2024年10月11日～2025年3月24日(予定)

場所 HOSEIミュージアム・サテライト小金井
(法政大学小金井キャンパス西館1階)

[展示概要]

私たちの生活に欠かせないインフラとなっているQRコードは、法政大学第二高等学校・法政大学工学部卒業、株式会社デンソーウェブ主席技師の原昌宏氏により1994年に開発されました。誰でも使えるものを作りたいという思いのもと開発されたQRコード。開発から普及、今後の展開について、ご紹介いたします。

ファインダー・三隅に配置し、位置、傾き、大きさを高速認識
印刷物に現れにくい形状

誤り訂正機能 (リード・ソロモン符号)
・欠損を復元する機能

**アライメントパターン
タイミングパターン**
・基準位置としてコードの歪みを正確に補正

誕生	セキュリティ	デザイン	形状
<p>1994 QRコード® ○高速読取 ○大容量 ○汚れに強い</p>	<p>2007 SQRC® ○暗号機能 ○2層構造 ○偽造・改ざんを防止 ⇒ チラフトへの活用</p>	<p>2011 複製防止 QRコード ○複製を防止 ⇒ 製品の真贋判定 温度切符の活用</p>	<p>2014 フレームQR® ○デザイン性向上 ⇒ サイトの集客力up</p>
<p>2022 rMQR® ○長方形 ⇒ 幅広いスペースの有効活用 円柱部活管理</p>	<p>・カメラ付携帯の普及 ・偽造問題</p>	<p>・電子チケット ・キャッシュレス決済</p>	<p>・SNS普及 ・O2O普及</p>
<p>・安全・安心 ・注意喚起の強化</p>			

QRコード化
QRコードのカラー化で画像データを格納



▲原昌宏氏

※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。



お問い合わせ 電話：03-3264-6501 Mail：museum@hosei.ac.jp

主催：HOSEIミュージアム 共催：法政大学理工学部



ミュージアムウェブサイト